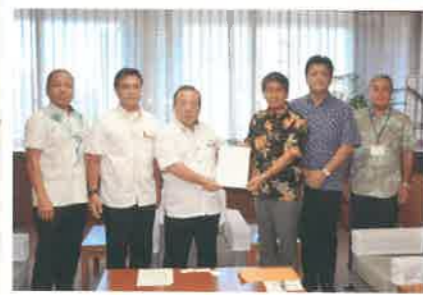




# 国への要請・県内視察



8・25 概算要求担当大臣要請



9・23 沖縄県国家戦略特区に係る  
外国人在留資格拡充の要請



10・11 久米島町台風被害要請



11・14 平成29年度沖縄振興関連  
税制・維新の提案



12・16 沖縄防衛局オスプレイ  
墜落抗議要請



12・20 龍潭通り会工事説明会



2・16 「那覇市・南部離島区」議員選出との行政懇談会



12・28 那覇広域都市計画見直し要請

## 日本維新の会 沖縄県総支部

### 第20回那覇市議会議員選挙公認・推薦・支持

公認



**金城 聡** 【新人】51歳  
きんじょう さとし

**子供たちに安心の未来を**

平成22年9月 沖縄県立泊高校通信制課程 卒業  
平成 3年～ 沖縄県市町村職員共済組合(平成28年退職)  
年金課・福祉・総務課・保健課等歴任



**新崎 進也** 【新人】42歳  
あら さき しん や

**市民目線でがむしゃらに**

平成 6年 沖縄県立豊見城高校 卒業  
卒業後23年間、民間企業で営業を努める  
弟の心臓移植をきっかけに、政治への道を志す

推薦



**當間 安則** 【新人】56歳  
とう ま やす の り

**想いやりのある行動!**

昭和59年 関東学院大学建設工学部 卒業  
平成 2年～ 建設会社にて土木部長  
宇安次嶺自治会協力委員・宇安次嶺農業改良組合副会長

支持



**池原 直慎** 【新人】48歳  
いけ はら なお ま さ

**若者に夢を!**

昭和61年 沖縄県立沖縄工業高校 中退  
信販会社経営の後、居酒屋あばらぎグループを経営  
伊良部島郷友会青年部長・仲地支部長等を歴任

議会活動  
報告だより

Vol.16

沖縄県議会  
議員

まっすぐ真剣に政治に挑む!

# 當間モリオ

発行日/平成29年5月1日

発行元

沖縄県議会 維新の会  
〒900-8501 那覇市泉崎1-2-3  
TEL (098) 866-2584  
FAX (098) 866-2575  
mail : isinnotou@oki-gikai.jp

# 熱盛 (アツモリ)



県民生活の向上を第一、  
沖縄の経済、教育を  
熱く盛り上げる「熱盛」で  
山積な課題に挑み、つぎの沖縄へ!!



日頃から當間モリオにご支援を頂き感謝いたします。  
昨年6月に4期目の当選から早1年を迎えますが、基地問題だけでなく経済も教育も福祉も課題は山積しています。理想論だけでなく解決に向けての提案・政策を出していく事に努めます。

地方が疲弊する中でマスコミは「豊洲問題」「森友問題」が中心で国会も機能停止しています。イギリスEU離脱、アメリカの保護主義、中東の不安定、北朝鮮のミサイル問題、中国の軍拡など安全保障は大きく変化しており政局だけの国会でなく日本の方向性を議論して貰いたいものです。

一方、我が県も基地問題が中心で、政府との対峙だけでは進展はありません。予算を多く取る為の「反対」でしかない県外から思われていることは残念ですが、辺野古移設工事が進む中、翁長知事の残された対応策は限られてきています。私たちが主張した「県民投票」も時機を逸しています。早期に辞職をして再選挙で辺野古は止める知事の覚悟が必要です。

経済は順調です。観光客も800万人を超え、平成33年までの目標も1200万人へと修正しましたが、今こそ「数」ではなく「質」にこだわるべきではないでしょうか。また、台湾との経済連携は特自貿での日本企業とのコラボで製造業の拡大が期待できる状況にあり、建設業も港湾事業や民間ホテルの建設で順調ですので賃上げ・正規社員に繋げていきたい。それこそが貧困対策になると考えます。

平成33年までの県民総生産5兆1千億円と県民所得270万円の目標は達成に向けて果敢に挑んでいきます。私が選挙公約で示した「新たな大学設立」に29年度予算で調査費がつき工科を専門とした総合大学がスタートします。これからも保育から大学までの「教育費無償化」に向けて身を切る改革・税金の無駄を無くし財源を確保する提言を行います。

沖縄の経済をより熱く、子ども達に熱い教育をそして政治を「熱く」前に進めて活きます。これからも宜しくお願い致します。



# 平成28年12月定例会

## 一般質問

### ハワイへの航空路の開設を提案 専修学校の職業実践専門課程に新たな支援検討

**質問** 訓練移転での馬毛島活用について

**答 弁** 馬毛島について防衛省が土地所有者と交渉は承知している。普天間飛行場の閉鎖、県外移設の具体化に期待する。維新の会の提案で視察を行った。条件整備や詳しい分析をして鹿児島知事とはいろんな角度からの話し合いをさせて頂きたい。

**質問** 観光や基地問題でもハワイ航空路の開設について

**答 弁** 大変すばらしい提案だ。エネルギー問題や観光でも共通するイゲ知事と次会う時には提案させてもらい、観光において兄貴分ですからウチナンチュ同士の連携もしっかりやっていきたい。

**質問** 各種専修学校に対する運営費補助について

**答 弁** 高等学校卒業生の進路先として重要な役割を果たしております。国から認定を受けた職業実践専門課程において新たな支援として補助することを検討している。

**質問** 離島市町村が発注する公共工事の不調・不落について

**答 弁** 石垣市・粟国村・渡嘉敷村・座間味村で入札不調が発生しており、粟国村は厳しい状況にある。県事業の空港ターミナルビルも不落が続いております。工場製品の活用、発注方法の見直しなど粟国村の担当者と一緒に方法を探します。

**質問** 大型MICE施設について、国の予算確保は出来ているのか。

**答 弁** 観光にビジネスリゾートの新機軸として重要な拠点施設と位置づけており、振興特別推進交付金を活用する。内閣府と密に協議を重ねていきたい。事業費は本体建設工事等で事業費438億円。今後、交通対策、公共交通対策及び道路整備とうについて関係機関と連携して対応していく。



MICE施設図



# 平成29年2月定例会

## 一般質問

### 職業実践専門課程に2400万円の一部補助 新たな大学の設置に向けた調査に3200万円を計上

**質問** 浦添ふ頭地区の現行計画での軍港移設について

**答 弁** 那覇港湾施設の返還は、基地負担の軽減、跡地の有効利用による発展に寄与する。浦添市や那覇市と話し合いながら進めていく、浦添市長ともその事を確認したところである。

**質問** 県内総生産と県民所得の状況について

**答 弁** 平成26年度県内GDPは4兆511億円、3.5%増。県民所得約213万円、1.4%増。展望値を達成するため、国際競争力のある物流拠点の形成や世界水準の観光に取組む地場産業、科学技術を応用した産業に取り組んでいく。

**質問** 県産品使用・県内企業優先発注について

**答 弁** 27年県発注の県内企業受注率は83.3%、総合事務局46.3%、沖縄防衛局59.3%。県発注で県産資材は平均88.8%となっており、分離・分割発注など県内企業への優先発注及び県産品の優先使用に取り組む。

**質問** 台湾との経済連携について

**答 弁** 台湾港務株や台湾デザインセンターとの経済連携覚書が締結されている。ビールを始め県産品の販路拡大、台湾観光客の増加や台湾企業の沖縄投資など双方の連携が活発となり、連携を活用してアジアでのビジネス拡大で沖縄の発展を加速させる。

**質問** 人材育成策としての大学の充実への調査費について

**答 弁** 大学入学人数は18歳人口に対する比率で全国52.2%、沖縄25.7%と極めて低く大学教育の受け皿が不足している。進学ニーズや産業界の人材ニーズ等の調査を行い、大学の施設・拡充等の検討していく。大学等の進学状況は県内3277名、県外2312名。専門学校等県内3030名、県外889名。経済的な理由等で県内志向が強い。



平成29年2月定例会一般質問

# 平成29年度の沖縄県一般予算概要

予算総額は7,354億円(対前年度より187億円の減少)4年連続となる  
7,000億円台を計上

沖縄県アジア経済戦略構想予算額・・・225億円

【主な事業】

- ・賃貸工場整備事業(20億円)
- ・観光国際化ビッグバン事業(15億円)
- ・大型MICE受入環境整備事業(14億円)
- ・航空機整備基地事業(41億円)
- ・エネルギー基盤事業(5億円)

子ども貧困対策に係る予算額・・・173億円

【重点施策】

- ・つながる仕組みの構築(5億円)・教育支援(11億円)
- ・生活の支援(27億円) ・就労支援(5.8億円)
- ・経済的支援(117億円)

33年度までの目標

放課後児童クラブ利用料10,115円⇒低減、高校進学率96.4%⇒98.5%地域等の学習支援41市町村

保健医療部の予算額・・・656億円

【主な事業】

- ・国民健康保険負担金(196億円)
- ・難病医療費等対策事業費(21億円)
- ・医療費助成及び現物給付導入補助(13.7億円)
- ・水道広域化推進事業費(4千万円)
- ・県立病院繰出金(60億円)

教育委員会の予算額・・・1,593億円

【主な事業】

- ・少人数学級の小学5学年へ拡充(3億円)
- ・那覇A特支・開邦中・球陽中の設計着手の県立学校施設整備(43億円)
- ・新県立図書館の施設・備品の整備(11億円)
- ・高校・大学生等国際性に富む人材育成留学事業(2億円)

# 那覇港管理組合の主事業



那覇港総合物流センター整備



第二クルーズバス事業

那覇港管理組合平成29年度・一般会計予算は68億5956万円。  
特別会計17億1509万円

【主要事業】

1. 流通港湾としての機能強化・・・付加価値の高い貨物を創出する総合物流センター(約92億円)片荷輸送解消、荷主向け社会実験及び船主支援を行う。
2. 国際観光・リゾート産業の振興・・・第2クルーズバスの着工、泊ふ頭地区の快適性・利便性の向上を図る施設の整備、離島航路を支える取組み。
3. 安らげる空間づくり・・・ウォーターフロント地区において、イベントやワークショップの開催で那覇港の魅力発信してまいります。
4. 港湾施設の安全性の向上・災害対応力の強化・・・臨港道路浦添線の無電柱化事業、護岸の改修、設備の更新、上屋の改修等計画的な維持管理に取組みます。